

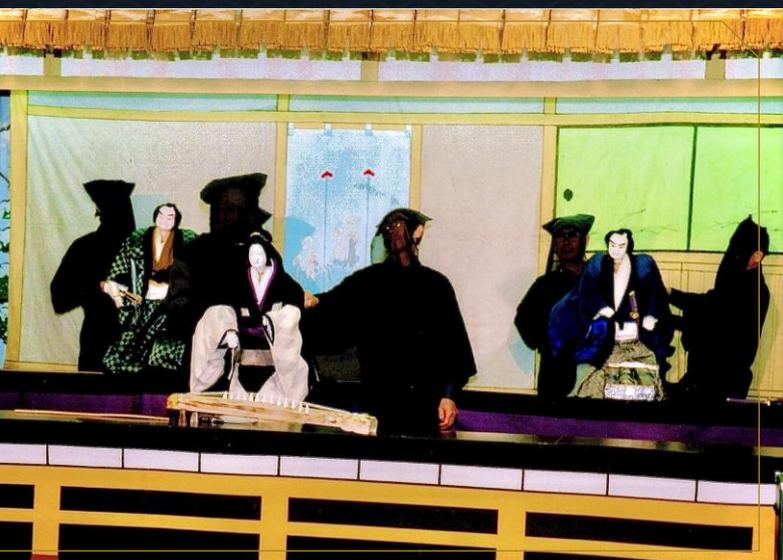
Folk Performing Arts of Gunma

# ぐんまの民俗芸能

Gunma Prefectural Women's University

## in 県立女子大 Vol.2

～人形浄瑠璃～



令和6年  
7月13日 (土)

13:00～(開場12:30)

群馬県立女子大学 講堂

参加費

無料 (要予約)



事業団HP



申込フォーム

申込・問合せ

受付期間: 6月1日(土)～7月12日(金)

申込方法: 電話または申込フォーム

TEL 027-243-7200

(8:30～17:00 日曜・月曜・祝日を除く)

公益財団法人群馬県教育文化事業団

〒371-0801 前橋市文京町2-20-22

出演 八城人形浄瑠璃城若座

レクチャー「浄瑠璃王国・ぐんまの文化力」(20分)

群馬県立女子大学群馬学センター 築瀬 大輔 教授

八城人形浄瑠璃城若座 公演 (90分)

◆ワークショップ(人形の仕組み・操作)

◆公演「生写朝顔話 宿屋の段～大井川の段」

[予告]

ぐんまの民俗芸能in県立女子大 Vol.3  
～獅子舞～

日時/令和6年11月9日(土)

会場/群馬県立女子大学 講堂

出演/千本木龍頭神舞保存会

参加費/無料

申込/8月上旬～受付開始予定

詳細は決定次第教育文化事業団HPでご案内します。

# 八城人形浄瑠璃城若座

(安中市指定重要無形文化財)



今から約300年前（江戸時代中期）、中山道の助郷の過酷な荷役と、酷税に悩まされていた、現在の松井田町周辺で、領内14カ村の農民代表8人が、天領に領地替えを願い、江戸道中奉行に上告をしました。

悪税は改められたものの、8人は上告の罪により、所払いの刑に処され、二度と故郷に戻る事は許されませんでした。この尊い8人の霊を祀るため、「八塔石紅地蔵」を建立し、この地蔵を供養するため奉納用の人形を購入し演じたのが、八城人形浄瑠璃の始まりです。

その後120年余り続いた人形芝居も幕末の混乱で中断してしまいましたが、明治18年（1885年）に村中で疫病が流行し、祈禱をしてもらおうと「操り人形を再開すれば平和になる」と告げられました。そこで若者たちが中心となって、「城若座」を結成し人形を復活させました。その後も何度か中断しましたが、昭和49年（1974年）に公演を復活、現在は29名の座員で、安中市松井田町を中心に活動を続けています。

八城人形浄瑠璃は、平成10年（1998年）に、松井田町（現・安中市）指定重要無形文化財に指定されました。

会場

## 群馬県立女子大学 講堂

佐波郡玉村町上之手1395-1



しょうつつしあきがおぼなし

## 生写朝顔話

(宿屋の段～大井川の段)

芸州（現在の広島県）岸戸の家老、秋月弓之助の娘深雪は、宮城阿曾次郎と恋仲であったが、駒沢次郎左衛門との縁談が起き、これが阿曾次郎の本名とは知らず別人と思い家出し、流浪の末、哀れ盲目となり門附の朝顔と名乗っている。島田の宿で駒沢と再会したが、盲目のためわかりませんでした。駒沢は目薬と朝顔の歌を残して去っていく。

朝顔はこれを知って、半狂乱で駒沢の後を追いますが、大井川は大雨で川止めになってしまった。美しくも悲しい恋物語であります。

※駐車場は台数に限りがあります。予めご了承ください。